

# 断酒 みどりの友

発行所 呉みどり断酒会  
事務局  
呉市 押込 5-12-25  
渡部 憲方  
郵便番号 737-0915  
電話 33-5571  
発行人 渡部 憲  
編集代表 石橋 剛  
印刷 松広印刷



第 41 回広島県断酒(庄原)大会にて



一日断酒

副会長 西村好登

呉みどりヶ丘病院に入院して、今では良かったと思っ  
ていますが、いざ入院すると酒が飲みたいよりは自由がほしかった。自由になると酒がほしい。この繰り返し  
が人生をダメにしてきた。この簡単な事が断酒会に入会し、例会出席しながら言いたくない体験を繰り返  
し返り巻き返して、段々酒の無い生活ができるようになって、いかに酒が、決断をする時、間違っ  
た方向に行ってしまうのか結局面倒な事になると酒に逃げていた自分を見る事ができる。多くの先輩、  
反面教師的な先輩を見させてもらって、あの時、何で酒に逃げて断酒会を去って行ったのか、やつぱり  
例会出席を怠る事で・・・例会出席をして『初心』に戻ることが必要であると同稿を書くなかで改めて  
認識をしました。

連続飲酒に入ると人生丸投げ、  
“酒が無いと!” 女房は無言、酒  
買ってこいや!” 女房は無言、物  
を投げる。買うまで暴言を吐きま  
くるなかで救いは一人息子は自立  
して別居、小さい時から三十才で  
幻覚が出て、この時も呉みどりヶ  
丘病院に入院してから女房は働き  
に出て子供はお袋に預けて以来あ  
んまり夫婦喧嘩を見せなくて済ん  
だ。ようするにおばあちゃん子。  
まあ十七才で酒覚えてからは、  
後先考えずにお金はバイク・車・  
賭け事、これだけ自分中心の生活  
をして来て、酒代、病院代、無駄  
な出費、何んの為に働いてきたの  
か、全部酒がらみ、三十才で幻覚  
出た時に断酒会に入会していれば  
・・・?。そうせずに楽な道を選んで  
飲んできて身体を壊して入院し、  
断酒会に入会して酒が止まってい  
ます。今、飲むと絶対飲酒欲求の  
腹の虫が目覚めると確実に、もう  
生きて行かれない。酒飲んだ頭で  
考えるところにやけくそになる自  
分があることを忘れん為に、例  
会出席しながらの「一日断酒」。

# 第41回広島県断酒大会 (庄原断酒会創立30周年記念)

第41回広島県断酒大会(併、庄原断酒会創立30周年記念)が、大会テーマ「家庭の和」と題して、梅雨空の六月十二日、庄原市にある庄原市民会館に於て、県内外から四百九十名余りの参加者が集い盛大に開催されました。

当会は観光バスにて会員・家族合わせて五十一名が参加しました。亦、大会の体験発表者は、家族の鍋山茂美さんが夫の引き起こす酒害に振り回された日々のこと。



被害者である子供達との間に挟まれ、葛藤の毎日を過ごしていた頃のこと。そして、断酒会に繋がりが例会に出席して行くにつれ、段々と変化して行く御自身の心模様を切々と語り、参加者の胸を打った。午後からの記念講演は、呉みどりヶ丘病院院長、長尾澄雄先生による演題「責任性の自覚」を頂きました。最後に来年の第42回広島県断酒大会を福山市断酒会の主管で福山で開催することのアピールを行い盛況のうちに閉会となりました。

## 体験発表



鍋山 茂美  
(家族)

呉みどり断酒会家族の鍋山茂美と申します。本日はこのような大会で、体験発表をさせて頂き、心より感謝致します。

主人は突然、顔の表情が無くなり食事や会話をする事ができなくなる、うつ状態になりました。左腕の麻痺があったので脳外科で診察しました。そこでは異常は無く精神科を紹介され、自律神経失調症と診断されました。主人は落ち込んで暗い部屋の中で、「自分は、もう駄目だ」と泣いていました。ごはんが食べられなくなり体重は10キロ近く減り、仕事も休職して暗い部屋で一日中寝ていました。私はどうなるかわからない主人に、先の見えない不安で毎日の通勤途中の車の中で、いつも泣いていました。それまでの私たちの結婚生活は良くありませんでした。

長男が小さい時、滑り台の上から落ちました。長男の名前を呼んでも返事は無く、反応がありませんでした。病院に行き主人に連絡しました。長男の意識も戻らないのに主人はパチンコに行つて病院には来てくれませんでした。その頃の主人は、パチンコに狂っていました。子供よりパチンコが大事な主人が、私はとつても嫌でした。

また、その子が小学校の時、先生に制服のシャツを切られた事がありました。私は驚き主人に相談すると、酒を飲みながら「別に大丈夫でいいじゃん」と言いました。その頃は、いつもたくさんお酒を飲んでいました。私は悲しくなりました。学校に連絡すると、何も言えない主人に校長先生が「穏便にして欲しい」と言われ、何もなかったようになりました。しかし、それから息子は、クラスの皆から口を聞いてもらえない虐めにありました。あの時、私達が正しい行動をとっていれば、息子は虐められなかったと思います。私は、胸が痛み悲しかったのですが、主人は何も感じていないようで、いつも大酒を飲んでいました。家の中では、いつも喧嘩

をしていました。私は離婚したいと思うようになり、子供が大きくなって、私がしつかり働けば離婚できると思っていました。

そんな気持ちの中でうつ状態になった時、「今まで、何もしてくれなかったのに」そんな気持ちで逃げ出したくなりました。

半年過ぎた頃、体調も少し良くなり仕事にも行けるほどになりました。好きだった酒を飲みたいと言ったので、先生に相談した処、「2杯なら良い」と言われました。しかし、その頃から、言動、記憶、目つきも変で、私は沢山お酒を飲んでいないか、主人を監視するようになりました。

娘は、飲酒運転する主人に「犯罪者の娘にせんといて」と泣いて、息子も情けない姿を見て「父さんと別れよう」と言い出しました。私は、離婚したら他人になるけど「子供にこの姿の父親で終わらせてはいけない」と思いました。あの時、結婚をひかえていた娘の気持ちを考えてと本当に申し訳ない思いでいっぱいです。

病院に行き、アルコール依存症と診断され賀茂台地断酒会に繋がりましたが、半年過ぎた頃「断酒

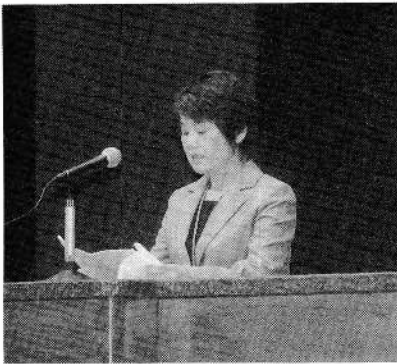
は続けるから、例会には行かない」と言い断酒会から離れました。

しばらくして、お酒を飲んでいるのを見つけたので今度はみどりヶ丘病院に連れて行き、みどり断酒会に繋がりました。それでもまだ隠れて飲んでいました。

そして、近所の人に主人が道で倒れていることを教えてもらい、入院となりました。

もう「お酒は飲んではいけない」とわかっていたのに飲んでしまった主人に、裏切られた思いでいっぱいでした。

子供や会社にとだけ迷惑をかけ、周りのことを考えない、そんな主人が悲しくなりました。身体に風が通り抜ける感じがしました。涙がずっと出て、私がいるか



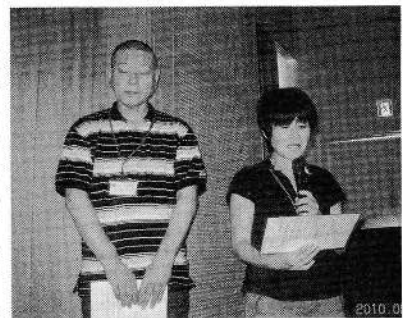
ら甘えているのではないかと思いい、居なくなったほうがいいのかと思いました。

入院すると、会社のこと、生活費のことを考えました。

会社には、うつの方に半年以上休んで迷惑をかけました。それなのにまた入院して何ヶ月間も休まなければいけない事を話しました。私は申し訳ない気持ちと会社をクビにして欲しくない思いで頭を深くさげてお願いをしました。

少しして、娘から泣きながら電話がありました。父親が、みどりヶ丘病院に入院したことを、職場の人が興味本位で何回も聞いてくるそうです。娘は「父さんや母さんが悪いわけじゃないから」と言いながら泣いていました。私は、何も言えませんでした。本当なら「その人が悪い」と言うはずですが《主人が酒を飲まなければ、こんな思いをさせなくてすんだのだ》と責任を感じました。電話の最後に「ごめん」と言いました。

こんなに家族に迷惑をかけてるのに、見舞いに行くと主人は「どうしたら早く退院できるか」と言っていました。自分のことばかり言っているのに腹が立ちました。



二人で出続けます！

病気と向き合って治すことより、早く出ることにしか考えてなく、子供や会社にとれぐらい迷惑をかけたか考えない主人に情けない思いでいっぱいでした。

その頃は、普通の生活をしている人が幸せそうで、私もそんな普通の生活がしたいと思いました。

それから主人は、院内例会やアルコール依存の資料を見て病気を認めてくれるようになりました。

退院した時の主人は、感情のコントロールができない時もあった言い争いで家を出てしまうことが何回かありました。私は、またお酒を飲んでないか、また落ち込んでうつになってるのではないかととても不安になり近所をさがしました。今まで見たことの無い怖い

顔で私を見ることもありましたが、私は気持ちを抑えるのに胸が張り裂けそうでした。こんな辛いことがこれからずっと続くのかと思うと本当にこれで良いのかと悩みました。会員家族の方から「少しずつ変わっていくよ」と教えて頂き、私もそれを感じるようになりました。

私は今まで、主人のためにしたことと間違っていたことがたくさんありました。私が主人をどうにかしようとしたり、私の思いを押しつづけていました。主人が変わって欲しいことを望んでいましたが、**本当は私が変わらないといけないのだ**と思いました。今までの考え方を考えることは大変難しいことです。断酒会で人の話を聞くことが大事だと思いました。

私たちは、**子供に迷惑をかけ、傷つけたことを忘れてはいけません**と思います。そのためにも、これから断酒会の行事に参加しつづけることを大事にしていこうと思います。

どうぞ、これからも御指導の程、よろしくお願い致します。

最後まで、聞いて頂きありがとうございます。

### 第46回中国ブロック (岡山・倉敷)大会

春爛漫の4月3日、全国各地から、千数十名余りの朋友が集い、岡山県倉敷市の児島文化センターに於て、**第46回中国断酒ブロック(岡山・倉敷)大会**が開催された。当会も四十四名の会員・家族が参加。初参加者は6名だったが、参加者の多さと大会の雰囲気圧倒され、感動した様子。亦、会場内外のあちこちで、久しぶりに再会した友達との親交を深める姿や楽しそうな会話が聞かれた。



倉敷市児島文化センターにて

### 第67回松村断酒学校

初参加者ひとりを含む7名が入校した**第67回松村断酒学校**。新緑に包まれた5月14日～16日本山町プラチナセンターに三百名余りが集まり開かれた。



会場前で

雨の多い本山町にしては珍しく五月晴れの続いた三日間。北海道から沖縄までの全国各地の仲間の強烈(?)な体験談に多くの感動をもらった。恒例の「カーネーション」を渡すセレモニーには、カップルも会場で笑顔でいっぱいになった。



初入校して

堂脇 正美

今回、初めて松村断酒学校に入校させて頂きました。会場に着くと多くの方から声を掛けて頂き、嬉しく思いました。自分一人ではない、沢山の仲間を支えられている事に気が付きました。今迄、酒の飲み過ぎで色んな事やっつて来た私ですが、研修会や断酒学校に行く事によって皆さんの話を聞く事ができ、私がどのようにして行かなければならないか、少しずつ解ってきたように思います。

そんな中、最後に感謝の気持ちをという事で、家族にカーネーションを贈るという事がありました。今迄、私は色々と家族や社会に対して酒で多くの迷惑を掛けてきました。何度も飲まないようにしようと思いましたが、いつも思うようになりません。学校に参加して、いつもの例会とは違って学ぶ事がたくさんありました。

最後の日にカーネーションを頂く事ができました。家に帰り、お袋にあげました。お袋は笑いながら「有り難う」と言ってくれました。これからも、私自身頑張つて行かなければと思っています。

お袋にカーネーションを渡した時の感謝の気持ちを忘れないよっつ。



鳴門市文化会館にて

梅雨明け宣言が出され、真夏を思わせる暑さの7月10日、阿波踊りと藍染めで有名な徳島県鳴門市の鳴門市文化会館に於て、第46回四国断酒ブロック(徳島・鳴門)大会が、千百数十名の朋友が参加して盛大に開催された。  
当会も三十二名の会員・家族が参加。四国ブロック大会初参加の者も多く、いつもと違った大会の雰囲気を感じた様子。ここでも親交を深める姿があちこちで!!

第46回四国ブロック  
(徳島・鳴門)大会



壮大な大山の裾野で!!

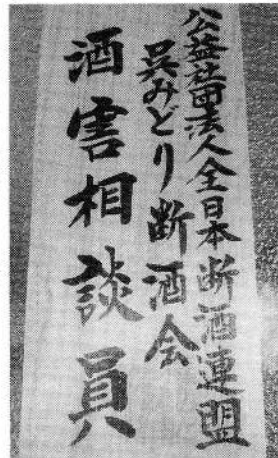
第10回鳥取県断酒会  
一泊研修会

「伯耆富士」の異名をもつ大山。暑い陽ざしの中、観光、登山客で賑わう大山町のホテル「大山」を会場に、今年も鳥取県断酒会一泊研修会が7月16〜17日に開催され、当会からも8名が参加した。

車4台を連ねて、山陽道、米子道の旅。蒜山高原で休んで昼前に大山到着。近くから見上げる大山の壮大さに圧倒され、記念撮影。涙あり、笑いあいの体験談。また恒例となった大山寺での早朝の「座禅」には、当会からも5名が参加した。  
来月2月の「呉みどり断酒会創立45周年記念大会」のアピールの機会もいただき、大いに交流を深めることが出来た。

酒害相談所を開設

長年の懸案事項でもあった「酒害相談所(員)」を、当会も今春より開設する運びとなった。保健所などを通じて、またはインターネットなどで情報を得て、電話で相談して来る人達のために、少しでも役に立ちたい!!。全断連が公益法人として認められた今、さらなる酒害啓発活動が求められる、各相談員は



表札もできた!!

【呉みどり断酒会酒害相談員】

- ◎田中 正直  
呉市広長浜三二七―五  
Tel 0823-711-7914
- ◎宗政 貢  
呉市広徳丸町一〇―五一  
Tel 0823-721-7514
- ◎宮野 積  
呉市焼山中央一―一五―二九  
Tel 0823-331-6722
- ◎須田 一郎  
呉市郷原六一―七  
Tel 0823-241-9056
- ◎渡部 憲  
呉市押込五一―二二―五  
Tel 0823-331-5571
- ◎西村 好登  
呉市三条一―四―一六  
Tel 0823-241-0321
- ◎大下 忠志  
安芸郡坂町小屋浦三―四―一〇  
Tel 082-886-8030

寄付者御芳名

(四月度)

三原断酒友の会様

感謝箱

一〇、〇〇〇円  
五、七七六円

(五月度)

呉 堂脇正美様

感謝箱

三、〇〇〇円  
一、二四一元

(六月度)

感謝箱

一、三七八円

(七月度)

呉みどりヶ丘病院

院長 長尾澄雄様

呉 中村里美様

感謝箱

六〇、〇〇〇円  
五、〇〇〇円  
一、〇五四円

新入会員紹介

●呉市阿賀北一―一七―一六

第五大谷荘 中林智佐子

●呉市警固屋四―一四―三七

石田 真一

●呉市本通六―七―一七

平本 照美

●呉市阿賀中央六―八―一五―一五〇五

梶山 善仁

断酒継続おめでとう

☆一年

片山 久人 3月13日

☆〃 高木 宗弘 4月3日

☆〃 北舛 武康 5月8日

☆〃 中村 里美 6月30日

☆二年 堂脇 正美 5月16日

☆〃 熊野 克幸 7月18日

☆三年 廣野 幸則 4月2日

行事予定

○9月23〜25日

第40回広島県断酒会連合会研修会

(国立江田島青少年交流の家)

○10月9日

広島県断酒ふたば会

創立45周年記念大会  
(広島国際会議場)

○10月16日

呉みどりヶ丘病院

創立41周年記念・特院

○10月23日

(呉みどりヶ丘病院)

○10月23日

第48回全国(静岡)大会

(静岡県県ランシップ)

○11月5〜6日

第16回ふくやま一泊研修会

(福山みろくの里)

○11月12〜13日

第45回酒なし忘年感謝会

平成23年3〜5月度例会動員数

行事名	回	正会員	家族会員	賛助会員	他社会員	院内会員	17-セブ	合計
土曜例会	13	492	163	76	227	913	157	2,028
水曜例会	13	456	183		10			649
家族の集い	3		27					27
ブロック例会	3	41	21					62
懇談会	3	4						4
特別院内例会	3	85	26					111
新会員を囲んで	3	31	10					41
第66回中国断酒(岡山)大会	1	30	14					44
第67回松村断酒学校	1	7	3					10
県連理事会	3	17						17
呉みどり断酒会役員会	3	20						20
合計		1,183	447	76	237	913	157	3,013

平成23年6〜7月度例会動員数

行事名	回	正会員	家族会員	賛助会員	他社会員	院内会員	17-セブ	合計
土曜例会	9	315	114	55	189	645	114	1,412
水曜例会	9	307	127		6			440
家族の集い	2		17					17
ブロック例会	2	24	11					35
懇談会	2	4						4
特別院内例会	2	53	17					70
新会員を囲んで	2	20	6					26
第41回広島県断酒(庄原)大会	1	36	15					51
第41回全断酒評議員会・通常総会	1	2						2
第48回断酒(岡山)大会	1	20	12					32
第10回鳥取県断酒会一泊研修会	1	5	3					8
県連理事会	2	6						6
呉みどり断酒会役員会	2	12						12
合計		804	322	55	175	645	114	2,115

第21回中国断酒セミナー  
(鳥取県ホテル「大山」)  
○12月7日

(シテイプラザ・スギヤ)  
平成24年1月3日  
平成24年新年合同初例会  
(呉みどりヶ丘病院)

公益社団法人

全日本断酒連盟

呉みどり断酒会

創立45周年記念大会

日時 平成24年2月5日(日)

10時〜15時30分

場所 呉市民会館